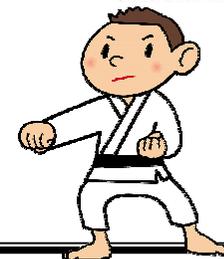


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



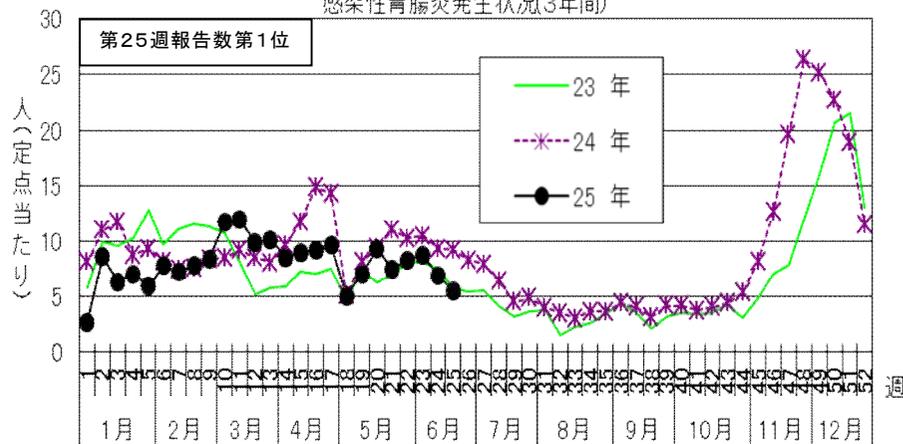
KAWASAKI CITY



平成25年6月17日（月）～6月23日（日）〔平成25年第25週〕の感染症発生状況

第25週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・手足口病 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり5.45人と前週（6.88）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 手足口病は定点当たり1.70人と前週（1.06）より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 風しんの届出が18件あり、前週より報告数は増加しています。現在、本市では、妊娠している女性の夫などを対象に、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種費用の一部助成を実施していますので、予防接種の検討をお願いします。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



これからの季節「夏かぜ」にもご注意を！！

夏季には、いわゆる「夏かぜ」と呼ばれる咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナなどの患者が増加します。原因はアデノウイルス、コクサッキーウイルス、エンテロウイルスなど様々で、同じウイルスでも型によって症状が異なる場合もあります。

5月以降、全国的に咽頭結膜熱が増加していますが、川崎市においても手足口病やヘルパンギーナの患者報告数が増えてきました。



元気に夏を過ごしてください。

注意すべきポイント！！

これら「夏かぜ」は、ウイルスの型によっては髄膜炎を引き起こすものもありますので注意が必要です。

また、特別な治療方法はなく、長期にわたってウイルスが便から排泄されることもあるため、正しい手洗いや便の適切な処理を徹底することが重要です。



正しい手洗い



便の適切な処理

～徹底して感染予防～

